

うたと打楽器による音楽劇



ラッセのにおで

演出/伊藤多恵 原作/エルサ・バスコフ 訳/石井登志子 台本・作曲/川中美樹

おうたが
おもしろかったの
もういっかい
みたいなの

こんな森や畑が
あったらいいなあ。
実のなる木を
植えたいなあ



くすくす

あはは...♪
おもしろうたや



ことばあそびを

楽しんだ
後は...

うたと打楽器アンサンブルでおくる

素朴で心温まる音楽劇

ゆったりほっこりラッセのにおへ!

ラッセは
お父さんにもらった
ボールを持って
庭へかけだしていきました
ところが・・・
ボールはころころ転がって
かかしさんにきいても
キャベツ夫人にきいても
見つかりません
はたしてボールは
見つかるのでしょうか

子どもたちがすんなり
溶け込むファンタジー。
あぁ～自然と子どもって
つながってるんだ。



©Maho Harada

子どもたちの心に「ファンタジーのたね」を!

生の舞台だからこそ醸し出すことのできるおいしい空気を手渡すこと
子どもたち自身が感じ 想像し表現する喜びに出会う手助けをすること
舞台を通して子どもたちの心に豊かなたねをまくこと
これが私たちの願いです

作品詳細はこちら↓

